

## 「親子キャンプ新春編」

### 1. 趣旨

日本における「書」を活用した活動を通して、日本の伝統と文化に触れ合いながら親子の交流を深める。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和6年1月6日(土)～1月7日(日)【1泊2日】

#### (2) 参加者

##### ①参加対象

小学校3～4年生とその保護者 ※兄弟姉妹がいる場合も参加可

##### ②参加人数

56名(18家族)

### 3. 企画運営のポイント

(1)「書道パフォーマンス」では、書道部による書道パフォーマンスを見ることで、日本の伝統文化に触れることを目的とした。また、「書初めにチャレンジしよう」「書を楽しもう」では、小学生と保護者が体験することを通して、日本の伝統文の良さを体感できるよう工夫した。

(2)「かまどで焼き餅をしよう」では、日本の伝統的行事の正月を体験できる活動を通して親子でふれあい、交流を深めることができるよう工夫した。

### 4. 日程

	午前	午後
1月6日 (土)		開会式 書道パフォーマンス 書初めにチャレンジしよう (小学校3～4年生) 書を楽しもう(保護者)
1月7日 (日)	朝のつどい かまどで焼き餅をしよう 閉会式	

## 5. 主な活動内容



書道パフォーマンス①



書道パフォーマンス②



書初めにチャレンジしよう①



書初めにチャレンジしよう②



書を楽しもう



かまどで焼き餅をしよう

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足 16 家族 (88%) やや満足 2 家族 (12%) やや不満 0 家族 不満 0 家族

### (2) 参加者の声

- ・高校生のパフォーマンスはなかなか見られないものが見ることができ、感動した。
- ・「書初めにチャレンジしよう」では、高校生が優しくアドバイスしてくれたので、上手に書けるようになった。
- ・「書を楽しもう」では、大人が夢中になることができた。講師の先生が書いているところや他の参加者の作品も見られてよかった。
- ・「かまどで焼き餅をしよう」では、火を使って餅を焼く機会がなかなかないので、楽しむことができた。
- ・普段はテレビやゲームをして過ごしているが、子供たちとゆっくりと過ごすことができた。

### (3) 成果

- ・「書道パフォーマンス」は、初めて見るという参加者がほとんどで、感動したという意見も多く、書道という日本の伝統文化をパフォーマンスという新たな形で見ると良い機会となった。
- ・「書初めにチャレンジしよう」では、参加者(小学校3～4年生)に高校生がつき、アドバイスすることで参加者(小学校3～4年生)の満足度が高くなり、書に関する興味関心が高まった。
- ・保護者対象のプログラム「書を楽しもう」では、久しぶりに書に向き合うことができたなど肯定的な意見が多く、書に親しむ機会の提供につながった。

### (4) 課題

- ・親子の交流を深める時間として、2日目の「かまどで焼き餅をしよう」を中心としてプログラムデザインしたが、1日目の書に関するプログラムの活動内容の工夫や、夜のプログラムを導入するなどして、さらに親子の交流を深めるプログラムを設定する必要がある。

担当 企画指導専門職 中山 太平